

教育研究業績

I 教育上の能力に関する事項

1. 教育方法の実践例

- ①共愛学園こども園での教育相談発達支援アドバイザーとしての支援 令和2年4月～
共愛学園こども園を訪問し、特別な支援が必要な子どもたちの行動観察等を行い、子ども理解と支援について職員にアドバイスをしている。
- ②伊勢崎市立殖蓮第二小学校のスクールカウンセラーとしての支援 令和4年4月～
伊勢崎市立殖蓮第二小学校のスクールカウンセラーとしてケースにかかわる中で、特別な支援が必要な子どもたちの行動観察等を行い、子ども理解と支援について職員にアドバイスをしている。
- ③恵泉幼稚園での教育相談発達支援アドバイザーとしての支援 令和5年4月～
恵泉幼稚園を訪問し、特別な支援が必要な子どもたちの行動観察等を行い、子ども理解と支援について職員にアドバイスをしている

2. 作成した教科書・教材

- ・小学校教科用図書「道徳」教科書出版編集協力者 令和7年4月～

3. 実務の経験を有する者についての特記事

- ①渋川市教育研究所教育相談員としての支援 昭和60年4月～昭和62年3月
渋川市教育研究所の教育相談員として相談業務に従事
- ②群馬大学教育学部附属養護学校教諭としての支援 昭和62年4月～令和11年3月
12年間、9月に4週間実施される教育実習期間に養護学校教諭免許状を取得する学生の指導教官として学生を指導した。
- ③前橋市教育委員会学校教育課指導主事としての支援 平成18年3月
LD、ADHD通級指導教室の開設にあたって、前橋市の5ブロックに拠点校を設置する前橋方式の制度を設計
- ④群馬県教育委員会特別支援教育課長としての支援 平成29年3月
高等学校におけるLD、ADHD通級指導教室の開設にあたって、群馬県内を5ブロックに分けて運営を行う群馬方式の制度設計を行った。
- ⑤群馬大学教育学部非常勤講師（群馬大学教育学部附属小学校副校長）としての支援
平成26年4月～28年3月
群馬大学教育学部附属小学校で教育実習を行う学生に対して教育実習事前指導及び本実習の全体的な管理運営を行った。
- ⑥共愛学園こども園教育相談・発達支援アドバイザーとしての支援

令和3年7月
実習園である共愛学園こども園の職員に対して、「特別支援教育・学びのスタート 1」の演題で校内研修の講師

令和4年7月

実習園である共愛学園こども園の職員に対して、「特別支援教育・学びのスタート 2」の演題で校内研修の講師

令和6年7月

実習園である共愛学園こども園の職員に対して、「子どもの成長を保護者と共有するために 1」の演題で校内研修の講師

令和7年1月

実習園である共愛学園こども園の職員に対して、「子どもの成長を保護者と共有するために 2」の演題で校内研修の講師

⑦共愛学園小学校スクールカウンセラーとしての支援

令和6年4月

実習校である共愛学園小学校の教職員に対して、「発達の気になる子どもの理解と支援 1」の演題で校内研修の講師

令和6年8月

実習校である共愛学園小学校の教職員に対して、「発達の気になる子どもの理解と支援 2」の演題で校内研修の講師

II 職務以上の実績に関する事項

1 学校現場等での実務経験 25年

- ①澁川市立古巻中学校 教諭（昭和58年4月～昭和62年3月）
- ②群馬大学教育学部附属養護学校 教諭（昭和62年4月～平成11年3月）
- ③澁川市立長尾小学校 校長（平成23年4月～平成26年3月）
- ④群馬大学教育学部附属小学校 副校長（平成26年4月～平成28年3月）
- ⑤明和学園短期大学こども学専攻 主任（令和2年4月～令和3年3月）
- ⑥共愛学園前橋国際大学短期大学部こども学専攻長（令和3年4月～）
- ⑦共愛学園前橋国際大学地域児童教育専攻幼児教育・保育コース教授（令和8年4月～）

2 実務の経験を有する者についての特記事項

- ①群馬県発達障害者支援センター主催のシンポジウムでシンポジスト 平成23年1月
- ②沼田市教育研究所主催の研修会で講師 平成26年12月
- ③榛東村教育委員会主催の研修会で講師を務めた 平成30年5月
- ④日本財団助成事業「学術手話通訳に対応した専門支援者養成」手話サポーター養成室主催のシンポジウムでシンポジスト 平成31年2月
- ⑤群馬県特別支援教育研究会自閉症情緒部会主催の「夏季研修会：自閉症情緒部会の先生方に期待すること」の講師 令和3年7月
- ⑥群馬県教育委員会主催の「発達障害等にかかる研究協議会」の講師 令和4年7月
- ⑦共愛学園前橋国際大学主催の「ちょっと気になる学生の理解と支援」の講師 令和4年8月

- ⑧群馬県私立保育園こども園長会主催の研修会で「ちょっと気になるこどもの理解と支援」
の講師 令和4年9月
- ⑨伊勢崎市小中学校長会主催の研修会で「気になる子どもへの向き合い方～発達障害傾向の児童生徒への具体的な対応～」の講師 令和4年11月
- ⑩前橋市芳賀公民館主催の令和4年度芳賀公民館子育て親子事業「ちょっと気になる子」のサポート講座の講師 令和4年12月
- ⑪群馬県教育研究所連盟主催の「春季研修会」の講師 令和5年7月
- ⑫利根教育事務所主催の「発達が気になる子への配慮と支援体制づくり」の講師
令和5年11月
- ⑬榛東村教育委員会主催の幼稚園研修会の講師 令和5年11月
- ⑭群馬県子ども会育成連合会主催の「令和5年度子供会指導者等研修会」の講師
令和5年12月
- ⑮前橋市教育委員会生涯学習課主催の前橋市人権教育指導者研修会で講師 令和5年12月
- ⑯前橋市芳賀公民館主催の令和5年度芳賀公民館子育て親子事業「ちょっと気になる子」
「織
細過ぎる子ども」のサポート講座の講師 令和5年12月
- ⑰群馬県教育委員会主催の「通級による指導」における巡回指導のモデル構築事業にかかる
「巡回による通級担当者会議」の指導助言 令和6年1月
- ⑱群馬県青少年会館主催の「子どもふれあいワークショップ」の講師 令和6年2月
- ⑲榛東村教育委員会主催の幼稚園PTA研修会の講師 令和6年3月
- ⑳群馬県生活こども部私学・青少年課主催の「令和6年度群馬県子ども・若者支援協議会
県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会のコーディネーター 令和6年7月
- ㉑群馬県教育委員会特別支援教育課主催の「特別支援学校機能強化事業（文部科学省補助
事業）研修会」の講師 令和6年8月
- ㉒榛東村教育委員会主催の「令和6年度榛東村人権（同和）教育研修会」の講師
令和6年8月
- ㉓特別支援教育総合推進事業特別支援教育コーディネーター研修：東部教育事務所管内「令
和6年度特別支援教育推進研修会」の講師 令和6年9月
- ㉔群馬県教育委員会義務教育課主催の「令和6年度人権教育推進協議会講演会」の講師
令和6年9月
- ㉕前橋市教育委員会教育支援課主催の「令和6年度第3回前橋特別支援教育研修会」講師
令和6年9月
- ㉖館林市教育委員会生涯学習課主催の「令和6年度青少年カウンセリング講座」の講師
令和6年10月
- ㉗大泉町教育委員会主催の「大泉町立保育園研修会」の講師 令和6年10月
- ㉘一般社団法人メノキ主催の「ぐんまインクルーシブアート研究会2024」講座の講師
令和6年10月
- ㉙なないろのMORI主催の「第5回子育て講演会」の講師 令和6年11月
- ㉚新島学園中学校・高等学校の校内研修の講師 令和6年11月
- ㉛群馬県総合教育センター主催の「令和6年度障害児相談担当者連絡会」の講師
令和6年11月

- ③②榛東村教育委員会主催の「令和6年度榛東村人権（同和）教育研修会」の講師
令和6年11月
- ③③群馬県育成会連合会主催の「中級カウンセリング講座」の講師 令和6年11月
- ③④なないろのMORI主催の「ノルマル17歳・フリーディスカッション」の講師
令和6年12月
- ③⑤群馬県生活子ども部私学・青少年課主催の「令和6年度群馬県子ども・若者支援協議会
県・市町村青少年相談担当職員研修会」のコーディネーター 令和6年12月
- ③⑥榛東中央子ども園の園内研修の講師 令和6年12月

3 その他

○行政機関 16年

- ①前橋市教育委員会学校教育課指導主事（特別支援教育担当）
(平成11年4月～平成18年3月)
- ②群馬県教育委員会高校教育課特別支援教育グループ指導主事
(平成18年4月～平成19年3月)
- ③群馬県教育委員会特別支援教育室指導主事 (平成19年4月～平成22年3月)
- ④群馬県教育委員会特別支援教育室補佐(企画指導係長)(平成22年4月～平成23年3月)
- ⑤群馬県教育委員会特別支援教育課長 (平成28年4月～平成31年3月)
- ⑥群馬県総合教育センター所長 (平成31年3月～令和2年3月)

III 当授業科目に関する研究業績等

1. 著書、学術論文等の名称

①インクルーシブ教育の進展と養護教諭に求められること

平成29年3月 日本健康相談活動学会

すべての教師に特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解するとともに指導力が求められる。そして、養護教諭は、その専門性から、それらの児童生徒の理解、教育課程や支援の方法、教師への助言等の指導力がもとめられる。そのために、インクルーシブ教育の進展や法令上の注意点、就学についての変更点、特別支援教育コーディネーターや関係機関、家庭との連携による指導体制の構築などを解説し、理解を深められるようにした。

著者：竹鼻ゆかり、松浦俊弥、上原篤彦、鎌塚優子（8名）

②群馬県における特別支援教育の推進

平成31年4月 日本家族療法学会

特別支援教育についての国の動向、発達障害等の特別な支援が必要とする児童生徒の在籍状況を説明した。また、群馬県が進めている群馬県特別支援教育推進事業に係る医療的ケア、特別支援学校の新設、高等部設置、高校における通級による指導、自立活動の充実等の各種施策についても説明をした。最後に、発達障害の子供を育てた親として、ペアレントメンターにも触れ、その内容を実践記録としてまとめた。

著者：阿部幸弘、檜林理一郎、中村真一、上原篤彦、吉野淳一（計 16 名）

③高等学校の通級指導の必要性と設置の過程

令和 2 年 5 月 臨床発達心理士会群馬支部

県教育委員会が平成 30 年度に高等学校に通級指導教室を開設するにあたり、群馬独自の通級指導教室の方法を取り入れた経緯について報告した。その方式は、文部科学省が平成 19 年に特殊教育から特別支援教育へと大きな転換をする際に前年の平成 18 年度から LD・ADHD 通級指導教室を導入した際に前橋市教育委員会がシステム化した前橋方式がベースになっておりその経緯についても報告するものであった。

著者：奥野みどり上原篤彦、（計 2 名）

④教育相談・発達支援アドバイザーの活用について

令和 6 年 3 月 共愛学園前橋国際大学短期大学部紀要第 3 号

幼稚園、保育園、こども園に在籍している特別な支援が必要な子どもたちへの援助としてコンサルテーション等が行われているが、その支援の回数が少ないことから、対象となる子どもたちの行動を観察し、実態と具体的な支援についてのアドバイスを教職員に行う教育相談発達支援アドバイザーの有効性について検証し今後の支援の在り方を考察し提案するものである。

著者：上原篤彦、梶内美紀、加藤富士人、篠塚晃子、田口哲男、（計 16 名）

⑤小学校において合理的配慮としてのキーボード入力を取り入れるにあたっての授業の実践

令和 7 年 3 月 共愛学園前橋国際大学短期大学部紀要第 4 号
限局性学習症（書くことの困難）と診断されている児童が、授業において合理的配慮として「キーボードによる入力」を取り入れ、その活用で書くことの代替する。そのために同学年の児童が対象の児童が「キーボードでの入力」を取り入れる必然性を理解できることをねらいとした授業の構想や計画・実施とその後の様子を研究レポートとしてまとめたものである。著者：上原篤彦、永井真紀 渡邊静、大崎香苗、（計 17 名）